

赤十字奉仕団鳥取県支部委員会の県外研修会を開催しました！

平成 25 年 6 月 26 日～27 日赤十字奉仕団鳥取県支部委員会の 21 名が参加し、徳島県支部との交流研修会を行いました。支部からは 3 名が同行しました。26 日はグランドパレス徳島にて赤十字奉仕団徳島県支部 14 名と活発な意見交換と交流を行いました。

27 日は赤十字ゆかりの地ドイツ館を見学し、渦の道から北淡震災記念公園の野島断層の説明をうけ、明石海峡大橋を渡りました。

支部委員会の研修旅行は初の企画でしたが、2 日間寝食を共にし、徳島県支部奉仕団との交流のみならず、鳥取県支部内の交流も深まり有意義な研修になりました。

【参加者の感想】

- ・日本古来の「絆」の心で、その昔ドイツの俘虜兵に隣人として接したことが、日本赤十字社の基となり、第 9 交響曲の故郷となったことを知りました。徳島の方々ともとけあい、いただいた防災ずきんは今後活用したいと思います。行き返りのバスの中でも同じ団員というだけで、賑やかで和やかで、心洗われる楽しい 2 日間を経験させていただきました。
- ・最初は何となくぎこちない雰囲気でしたが、バスの中での自己紹介の後、だんだんと打ち解けて参りました。研修の中で特に強く感じたのは、災害に対する徳島県支部奉仕団の熱意でした。私たちがまあこの位でいいかと考えていたこと、沢山反省させられました。車中ではいろいろと個性豊かな方々と交流もでき、また来年も実施できたらと楽しく帰途につきました。
- ・奉仕団に入って日の浅い私には、知らないことが多く話についていけない場面もあり、社資や奉仕についての理解が足りないと自覚しました。ともあれ、半分レクリエーションを兼ねた研修会を十分に楽しみました。
- ・徳島県鳴門市の「奇跡の収容所」と呼ばれた地（第一次世界大戦時の坂東俘虜収容所）では、捕虜のドイツ兵が地元の人々と交流しパンを焼き、スポーツを楽しみ、楽器を演奏するなど人間らしい生活が許されていました。まさに赤十字の掲げる「人道・博愛」の《こころ》が活かされています。改めて赤十字思想の深さを知り得た研修会でした。



赤十字奉仕団徳島県支部との交流会



赤十字ゆかりの地のモニュメントの前で
(鳴門市ドイツ村後援)